

令和7年9月26日

第8回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会の
持ち回り審議実施に係る審議内容及び決定事項について

令和7年6月に持ち回り審議（書面による審議）にて実施した標記委員会について、審議内容及び決定事項に係る資料は次のとおりである。

【審議内容及び決定事項に係る資料】

- (別紙1) 第8回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会の報告事項に対する委員の意見と委員長・事務局の見解・コメント
- (別紙2) 第8回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会持ち回り審議決定事項
- (別紙3) 第8回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会持ち回り審議 審議事項の概要

第8回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会(持ち回り審議)
委員並びに関係者からの意見と委員長・事務局の見解・コメント

2025/7/24

以下に委員並びに関係者から頂いたご意見・コメントを示し、それに対する委員長・事務局の見解・コメントを記載します。

1. 令和7年度 地下水の環境基準への到達に向けての計測の実施状況と結果(その1)
— 四半期ごとの報告(令和7年度春季)を中心とした積極的な地下水浄化対策停止以降の水質計測結果 — (審議)

No.	委員の意見・コメント:7/1㍻切	委員長・事務局の見解・コメント(7/8)	再度の意見照会/関係者の意見(7/22㍻切)・委員長・事務局コメント(7/24)	今後の対応(委員長・事務局)
1-1	【河原(能)委員】 ・計測を継続して状況を見守るしかない。	御意見をいただきありがとうございます。本年度も年4回の計測を継続してまいります。	なし	7/8の見解・コメントのとおり。
1-2	【平田委員】 ・今後ともモニタリングを継続していくことが重要である。	御意見をいただきありがとうございます。本年度も年4回の計測を継続してまいります。	なし	同上
1-3	【河原(長)・松島・門谷各委員】 意見はありません。			
1-4			【豊島住民会議】 意見はありません。	

2. 令和7年度 自然浄化対策の実施状況と豊島処分地全体の保全管理の状況(その1)(令和7年3月～5月)(審議)

No.	委員の意見・コメント:7/1㍻切	委員長・事務局の見解・コメント(7/8)	再度の意見照会/関係者の意見(7/22㍻切)・委員長・事務局コメント(7/24)	今後の対応(委員長・事務局)
2-1	【河原(長)・河原(能)・平田・松島・門谷各委員】 意見はありません。			7/8の見解・コメントのとおり。
2-2			【豊島住民会議】 意見はありません。	

令和7年7月24日

第8回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会
に関する持ち回り審議
(R7.6.17 資料送付・7.24 決定事項の報告)
～ 決 定 事 項 ～

1. 令和7年度 地下水の環境基準への到達に向けての計測の実施状況と結果（その1）
— 四半期ごとの報告（令和7年度春季）を中心とした積極的な地下水浄化対策停止以降の水質計測結果 —（審議）

標記資料については、6月17日送付版のとおり了承した。

なお、今後も地下水の環境基準への到達に向けての年4回の水質計測を継続していくこととする。

2. 令和7年度 自然浄化対策の実施状況と豊島処分地全体の保全管理の状況（その1）
（令和7年3月～5月）（審議）

標記資料については、6月17日送付版のとおり了承した。

なお、今後も処分地全体の保全管理を継続するとともに、処分地内の雨水貯水池等の水位を継続して観測し、雨水貯水池等の浸透速度を整理する。浸透速度の低下が見られた場合には、「雨水貯水池及び浸透池の底泥除去等の方法」（第5回第2次フォローアップ委員会 R6.9.30Web 開催で承認）及び「豊島処分地での地下水に対する自然浄化対策の実施と地下水濃度の計測結果に関する中間報告（その1）」（第7回第2次フォローアップ委員会 R7.3.31Web 開催で承認）では、以下のように決定されている。

- ① 雨水貯水池の水位の計測結果や豊島処分地の降雨量等を基に地下浸透量を推定し、水位等との関係を整理して、四半期ごとに委員会委員及び関係者に報告する。その結果、委員会で必要と認められる場合には、バックホウ等での雨水貯水池の底泥除去等の工事計画を策定し、委員会に諮ったうえで工事等を実施する。
- ② ただし、今後、地下浸透量の変化を底泥の堆積がないことが確認された雨水貯水池では以下の式（1）の指数 b の変動で判断する。なお、浸透池についても、今後、乾期に底泥堆積状況の測定を実施し、その後に雨水貯水池と同様の手法で地下浸透量の変化を推定するものとする。

$$y = a \exp (b t) \cdot \cdot \cdot \cdot (\text{式 1})$$

y : 経過日数 t 時点の貯留量 (m³)

a : 貯留量が減少傾向に入る直前の計測日の貯留量 (m³)

b : 指数

t : 貯留量が減少傾向に入る直前の計測日からの経過日数 (日)

令和7年7月 24 日

第 8 回第 2 次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会
に関する持ち回り審議
(R7. 6. 17 資料送付・7. 24 決定事項の報告)
～ 審議事項の概要 ～

1. 令和 7 年度 地下水の環境基準への到達に向けての計測の実施状況と結果（その 1）
— 四半期ごとの報告（令和 7 年度春季）を中心とした積極的な地下水浄化対策停止以降の水質計測結果 —（審議）

第 18 回豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会（R5. 3. 26Web 開催）において審議・承認いただいた「処分地全域での地下水における環境基準の到達及び達成の確認マニュアル」及び第 7 回第 2 次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会（R7. 3. 31Web 開催）で審議・承認された「令和 7 年における各種調査の実施方針」に基づき、地下水の水質計測を継続している。

今回、地下水の水質調査を令和 7 年 5 月（令和 7 年度春季）に実施したことから、地下水濃度の推移を確認いただき、今後の予定を審議した。

2. 令和 7 年度 自然浄化対策の実施状況と豊島処分地全体の保全管理の状況（その 1）
（令和 7 年 3 月～ 5 月）（審議）

豊島処分地では、雨水の地下浸透等による自然浄化により地下水の環境基準の達成を目指しており、雨水の地下浸透量等の知見を得るため、令和 5 年 4 月（貯水池の水位測定は、令和 5 年 5 月から）から豊島処分地の降雨量や雨水貯水池等の水位観測を行っている。

今回、令和 7 年 3 月分から 5 月分までの豊島処分地の降雨量や貯水池等の貯留量及び地下浸透量等の観測・推定結果及び、地下水の自然浄化対策と「地下水の自然浄化対策関連施設の運用を含む豊島処分地の維持保全管理マニュアル」（R5. 9. 25 策定）に基づき施設の点検等を行った結果と対応を確認いただき、今後の予定を審議した。